

■平成30年度 福岡市高速鉄道事業会計決算の概要

1. 概況

福岡市の高速鉄道事業は、昭和56年7月26日に空港線（1号線）室見～天神間で営業を開始して以来、順次部分開業を続け、平成5年3月3日の空港線博多～福岡空港間の開業により、空港線と箱崎線（2号線）の全区間が開業しました。また、西南部地域における基幹交通機関として七隈線（3号線）橋本～天神南間が平成17年2月3日に開業し、空港線、箱崎線と七隈線を合わせて29.8キロメートルで営業しています。

七隈線延伸事業については、安全を最優先に土木本体工事等を着実に推進するとともに、軌道工事の契約を行う等、施設関連工事に順次着手しています。

営業線改良事業については、空港線主要駅のリニューアル事業として福岡空港駅改造事業や天神駅東口リニューアル事業などを実施するとともに、安全・安心の向上のため、ATC（自動列車制御装置）等の列車制御装置やトンネル等の土木構造物の改良に取り組んでいます。また、ユニバーサルデザインに配慮した地下鉄施設の整備推進を図るため、昇降機の充実に向けた取組みを推進しています。

増客増収の取組みについては、新たな企画乗車券やICカード「はやかけん」の記念デザインカードの販売に加え、電子マネー加盟店の拡充などによるお客様の利便性向上、民間タイアップによる利用促進キャンペーン、イベント等主催者と連携した臨時列車のきめ細かな運行など、乗客誘致活動を積極的に推進しています。また、広告の販売促進に取り組むとともに、お客様ニーズに対応したコインロッカーの移設、新規店舗の誘致及びモバイルバッテリー貸出機の新設など駅空間の有効活用を図っています。

利用者数は、年間乗車人員171,550,780人（1日平均470,002人）で、平成29年度と比較して5,765,121人（3.5パーセント）増加しています。内訳は、定期の利用者が85,311,240人（1日平均233,729人）で、平成29年度と比較して3,384,015人（4.1パーセント）増加しており、定期外の利用者が86,239,540人（1日平均236,273人）で、平成29年度と比較して2,381,106人（2.8パーセント）増加しています。

このため平成30年度の乗車料収入（消費税抜き）は288億4,521万円で、平成29年度と比較して、8億1,700万円（2.9パーセント）の増となっています。

経営状況については、総収益375億585万円に対し、総費用は298億4,949万円で、差引76億5,636万円の純利益が生じました。

その結果、平成30年度末における累積欠損金は、1,166億6,440万円となっています。

今後とも、経営戦略に定めた経営理念の下、安全・安心を最優先に、経営の健全化と質の高いサービスの提供に努めます。

2. 収益の収支及び資本の収支

収益の収支	金額
収入	39,943 百万円
支出	31,995 百万円
差引	7,948 百万円
単年度損益(消費税要素除く)	7,656 百万円

平成29年度末累積損益 △ 124,321百万円
 平成30年度損益 7,656百万円
 平成30年度末累積損益 △ 116,665百万円

資本の収支	金額
収入	27,827 百万円
支出	38,821 百万円
差引	△ 10,994 百万円

※ 損益勘定留保資金等で補てん

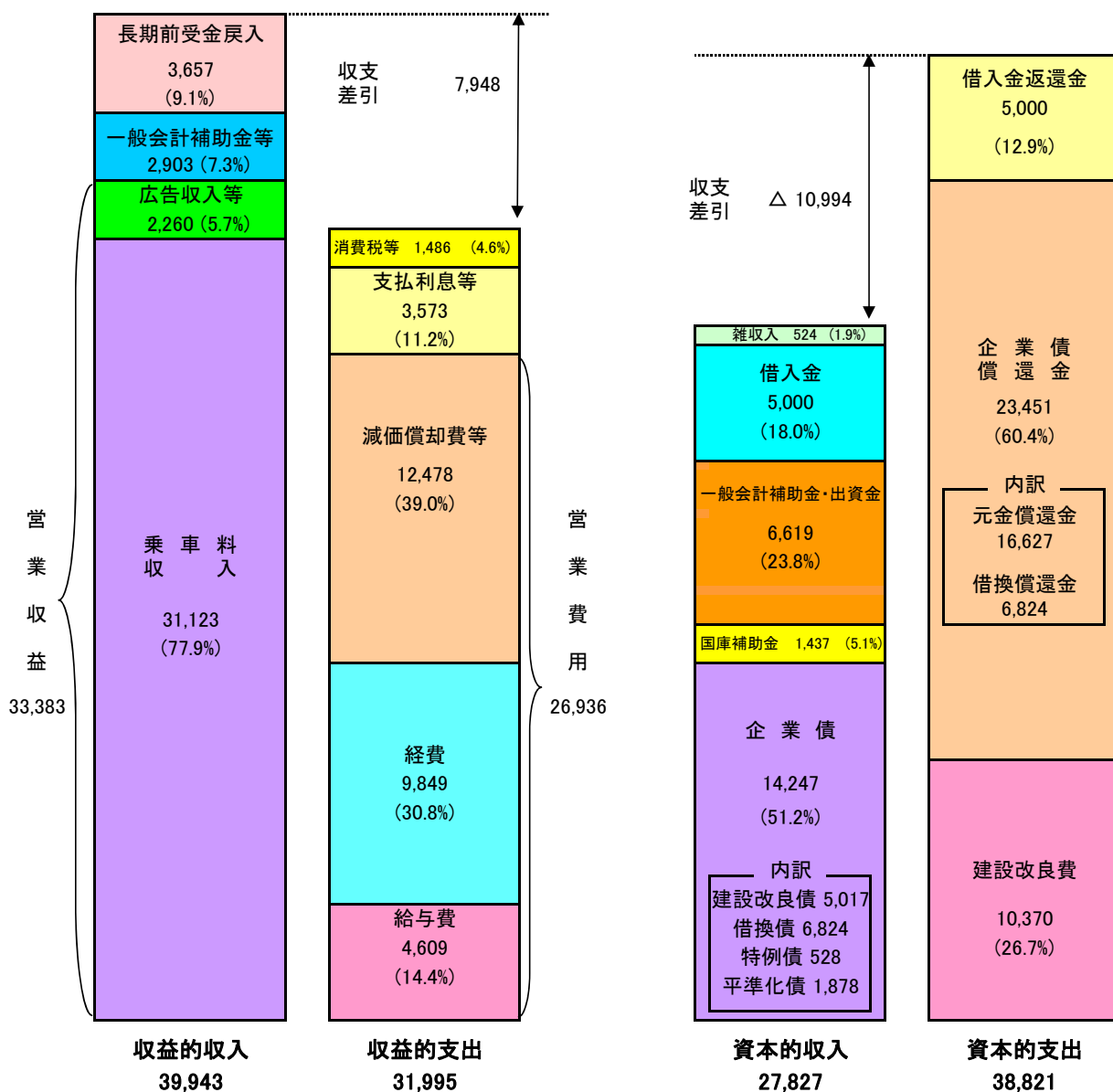
平成30年度末累積資金過不足額 △ 6,338 百万円

収益の収支

(単位:百万円)

資本の収支

(単位:百万円)



3. 業務量(年間又は年度末)

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線(1号線)	姪 浜 ~ 福岡空港	13.1 キロメートル
箱崎線(2号線)	中洲川端 ~ 貝 塚	4.7 キロメートル
七隈線(3号線)	橋 本 ~ 天神南	12.0 キロメートル
計		29.8 キロメートル

(2) 車 両 数 212両 (41編成)

(3) 年間走行キロメートル 18,723,438.6 キロメートル

(4) 年間輸送人員 171,550,780人

(5) 一日平均輸送人員 470,002人

○内訳

空港・箱崎線(a) [乗継ぎ分含む]	401,621 人
七隈線(b) [乗継ぎ分含む]	91,287 人
乗継ぎ分(c)	22,906 人
全線計(a)+(b)-(c)	470,002 人

4. 主要な建設改良事業

七隈線延伸事業	事業費	5,738,528 千円
営業線改良事業	事業費	4,608,546 千円

(2) 重要施策

① 七隈線延伸事業

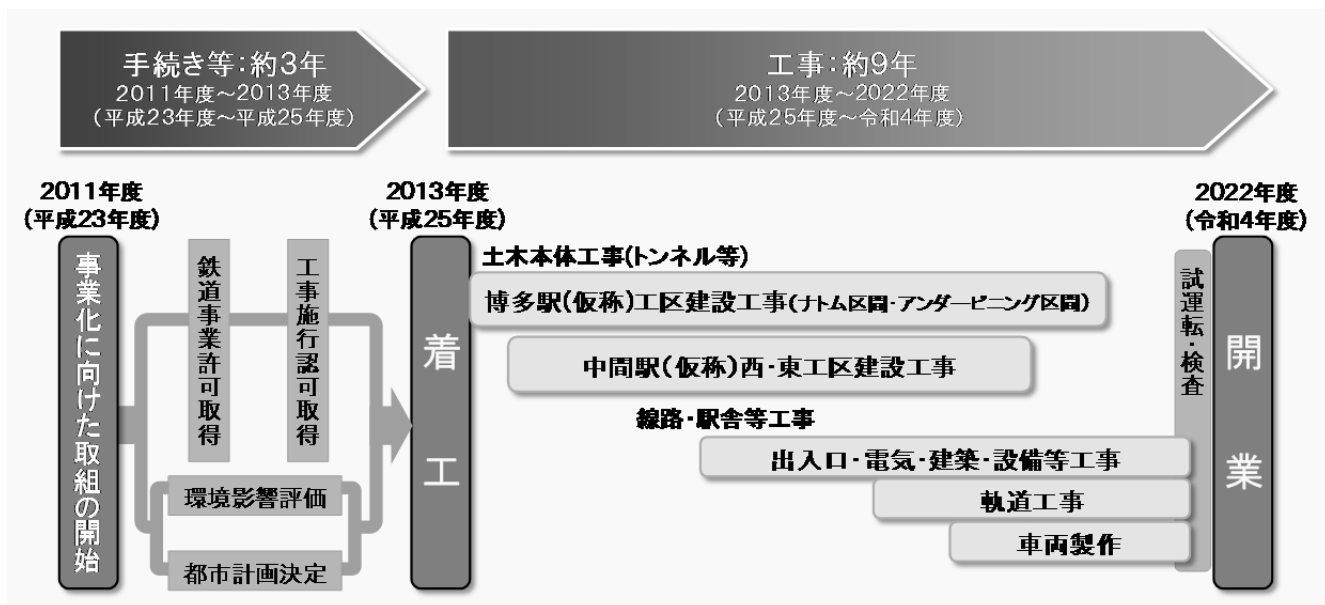
5,738,528 千円

安全対策に万全を期しながら、土木本体工事等を着実に推進するとともに、軌道工事の契約を行う等、施設関連工事の着手に向けた準備を進めた。

今後も安全を最優先に着実に事業を推進するとともに、事業の進捗状況等の情報を丁寧に分かり易く発信する。

<事業の概要>

- ◇延伸区間 天神南～博多
- ◇建設キロ 約1.4 km (営業キロ約1.6 km)
- ◇建設費 約587億円
- ◇開業予定 令和4年度
- ◇利用人数 延伸区間で約8.2万人/日(需要定着後)うち新規利用者数…約2.3万人/日



(単位：千円)

事業名	最終予算 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
七隈線延伸事業	10,869,000	5,738,528	5,043,000	87,472	土木本体工事 中間駅(仮称)出入口工事 中間駅(仮称)地中熱熱交換器 設置工事等

② 空港線主要駅のリニューアル

ア 天神駅東口リニューアル事業 31,656 千円

天神駅において、天神ビッグバンによるビル建替えにあわせて、天神駅東側コンコースのレイアウトを変更し、駅の利便性・回遊性の向上、さらなるバリアフリー経路の充実や賑わいスペースの創出を図るため、コンコースの改良工事やエレベーター増設等の検討を行った。

イ 博多駅筑紫口昇降機設置事業 700 千円

博多駅筑紫口において、お客様の利便性向上を図るため、地下鉄コンコースから地上へのエスカレーター設置に係る実施設計を行った。

ウ 姪浜駅リニューアル（エスカレーター設置工事） 一千円

姪浜駅において、お客様の利便性向上を図るため、地上1階から中2階コンコースまでの上りエスカレーターの設置に着手した。

エ 福岡空港駅改造事業 593,214 千円

福岡空港駅において、地下鉄と空港の交通結節機能の強化を図るため、ターミナルビル移転に伴う新しいビルの建設にあわせ、新改札口の整備など駅レイアウトの変更を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 天神駅東口 リニューアル事業	38,047	31,656	0	6,391	コンコース改良工事 レイアウト変更実施設計 開口設置工事 エレベーター増設基本設計
イ 博多駅筑紫口 昇降機設置事業	2,619	700	1,919	0	エスカレーター設置工事实 施設計
ウ 姪浜駅 リニューアル	37,195	0	37,195	0	エスカレーター設置工事
エ 福岡空港駅 改造事業	614,682	593,214	0	21,468	コンコース改良工事 駅務機器設置工事
合計	692,543	625,570	39,114	27,859	

③ 安全・安心の向上

ア 自動列車制御装置（ATC）等改良工事 341,266 千円

経年劣化したATC等について年次計画により改良工事を実施した。

イ 土木構造物改良工事 175,518 千円

経年劣化した土木構造物（トンネル等）について年次計画により改良工事を実施した。

ウ 安全・安心を支える人材の育成 26,003 千円

交通局人材育成プランに基づき、専門的かつ高度な知識や技術を有する人材を計画的に育成していくため、研修の改善に取り組んだほか、委託駅従事員についても、地下鉄事業に従事する職員としての資質向上を図る研修を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 自動列車制御装置 (ATC)等改良工事	342,000	341,266	0	734	対象駅:福岡空港駅 (7駅中5駅完了)
イ 土木構造物 改良工事	175,541	175,518	0	23	トンネル断面修復等
ウ 安全・安心を支える 人材の育成	27,900	26,003	0	1,897	派遣研修、資格取得支 援、委託従事者研修等
合計	545,441	542,787	0	2,654	

④ ユニバーサルデザインに配慮した整備推進

ア 昇降機の充実 12,012 千円

超高齢化社会への対応など社会情勢の変化に対応するため、バリアフリー経路の充実に向けてエスカレーターの設置、昇降機増設の検討を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
昇降機の充実	51,126	12,012	39,114	0	空港線・箱崎線昇降機増設検 討、天神駅東口昇降機増設基 本設計 等 (再掲額を含む)

⑤ お客様サービスの向上

ア 駅案内サイン等の改良

77,601 千円

空港線・箱崎線の駅案内サイン等について、ピクトグラムの積極的な採用など、よりわかりやすくするための改良を行った。

イ インバウンド対策の拡充

7,684 千円

博多駅において、多言語対応可能な案内専門のスタッフを配置し、地下鉄に関する案内及び観光情報等を提供するサービスの試行等を行った。

ウ 乗車マナーの向上

31,238 千円

エスカレーターへの安全利用、歩きスマホ防止及びリュックの持ち方などの乗車マナー向上に取り組んだ。

エ 地下鉄駅の魅力づくり

15,639 千円

お客様に親しまれ満足いただける地下鉄を目指し、駅の個性化・活性化を図る空間づくりに取り組んだ。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
ア 駅案内サイン等の改良	77,603	77,601	0	2	駅毎改良(天神駅誘導サイン等) 全駅一斉改良(地下鉄案内標)
イ インバウンド対策の拡充	7,807	7,684	0	123	外国語サポートサービスの活用 タブレット端末を利用したお客様案内 地下鉄駅コンシェルジュの配置
ウ 乗車マナーの向上	32,722	31,238	0	1,484	啓発ポスター、啓発グッズ製作 駅ホームにおける整列乗車ラインの設置 駅構内放送の製作・供給
エ 地下鉄駅の魅力づくり	15,906	15,639	0	267	副駅名の導入(薬院大通駅, 大濠公園駅) 列車接近メロディの導入
合計	134,038	132,162	0	1,876	

⑥ 駅施設の省エネルギー化

ア 駅照明等のLED化改良工事

123,352 千円

ホーム、コンコース等の照明のLED化を実施した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度 繰越額 C	不用額 A-(B+C)	備考
駅照明等のLED化改良工事	123,353	123,352	0	1	馬出九大病院前駅 千代県庁口駅

⑦ 経営健全化の推進

ア 経営戦略の策定

1,857 千円

経営の健全化を図りながら、将来に渡って安全で快適な輸送サービスを提供していくため、経営全般に関する中長期的な経営計画となる「経営戦略」を策定した。

イ 営業データの分析・マーケティング調査

16,833 千円

戦略的な営業施策を推進するため、地下鉄営業データの分析を行うための営業データ保存サーバの構築や、構内営業における顧客ニーズを把握するためのマーケティング調査を実施した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A-B	備考
ア 経営戦略の策定	3,492	1,857	1,635	「福岡市地下鉄経営戦略懇話会」の設置 冊子及び概要版の作成・製本
イ 営業データの分析・ マーケティング調査	18,576	16,833	1,743	営業データ保存サーバの構築 顧客ニーズ把握、駅別分析等
合計	22,068	18,690	3,378	